

### コミュニティ活動推進へ 条例見直しを研究

降旗 聡

効であります。今後、関係団体などと調整を図りながら、条例の見直しを研究していきたい。

(問) コミュニティ活動の推進には、自治会活動の拠点施設の整備・充実が求められています。現在も、美南地区などの方々から集会所設置についてご意見を頂いています。現行制度では、迅速な対応が難しく、今後も吉川美南駅東部などの開発が進むことから、「吉川市まちづくり整備基準条例」の見直しが迫られていると考えます。「開発者の責務で、公益施設（集会所及び集会所）の設置」を明記するなど、まちづくりについて市民と開発者、市が協働して「住み良さ日本一」をめざしてはいかがでしょうか。

(答)市長 集会所などの公共施設の整備・充実の必要性は認識しています。近年の大規模開発により市街地を形成した地域では、集会所を整備するための用地確保が困難であり、入居開始後、急激に世帯数が増加し、新たな自治会が組織されるので、事前に集会所が設置されていることは有

### 介護保険―生活援助 時間短縮の影響は

小林 昭子

(問) 市内利用者の時間変化は、

(答)健康福祉部長 現在生活援助サービスを利用している人は58人で昨年より5名増えている。一回の利用時間の内訳は、「60分未満」の方は昨年43人だったが今年はその内38人が「45分以上」に、5人が「45分未満」に変更した。昨年「60分以上」の利用の方は11人だったが、全て「45分以上」に変わった。市として、サービスが足りない時は、日常生活サポートサービス等の市単独事業があるのでケアマネから相談があれば利用を勧めていく。個々のケアケースの変化を見ていかないと大きな変化は調べられないが利用時間の不足はないと考えている。

(問) 掃除、洗濯、食事作りに不便が出て利用者は受け入れざるを得ない。もっと実情

がわかるシステムが必要だ。(答)健康福祉部長 今後地域で個別のケア会議を立ち上げていきたい。困難ケースについて地域、民生委員、ケアラー（家族介護者）を含めてケアマネジメントで様々な介護の問題を見つけ出し適切なケアマネジメントを指導する。

### 消費税増税に反対を

佐藤 清治

(問) 民主党、自民党、公明党の密室談合によって消費税の増税が強行されました。いま求められているのは消費税の増税ではなく無駄の削減はもとより、大企業への優遇税制をたたくこと、証券優遇税制の廃止、所得税、住民税の最高税率を1999年の減税前に戻すことをはじめとする富裕層にきちんと課税するような抜本的な税制改正をおこなうことです。市長は消費税の大増税に明確に反対し市民生活を守る先頭に立つべきであり、見解を求めます。

(答)市長 実施にあたっては法案でも景気回復が大前提であ

り、東日本大震災などに配慮するとともに低所得者への対策について国会で十分議論していただき、国民の理解を得られるよう考えてもらいたい。

中の道路や未着工の完成時期と見直しは。きよみ野中心部を通る関谷野谷線は大型車の通過道路となり、住民は振動等に悩まされている。対策をとるべき。

◆駅南二郷半緑道の雑草対策は

(問) 第2期工事がおこなわれている。第1期工事区間について「せっかく金をかけて整備したのに雑草がひどい」と苦情がよせられている。

(答)都市建設部長 今後は状況を見ながら予算の範囲で実施回数を検討する。



適切な雑草対策が求められる(二郷半緑道)

◆平成25年度の重点施策は(問) 市民は、生活のきびしさと将来不安を多く抱えている。市の来年度の事業の重点はなにか。不安定雇用改善などを政府に求めるべきである。(答)市長 防災のまち、子育て支援など重点施策を着実に実施する。美南小学校で開設される子育て支援センターの運営、子ども医療費無料化など引き続き取り組む。労働者派遣法が改正されたが、見送られた製造業の登録型派遣などの改善が必要で、国の動向を見守る。

### 道路整備をすすめる 住みやすい街に

遠藤 義法

(問) 住みやすい環境づくりに道路整備は欠かせない。工事